

環境白書

令和2年版



青森県

—表紙の写真—

名久井岳県立自然公園（南部町）

名久井岳は標高615.4メートルの低い山で、山頂を中心とする半径2キロメートルのほぼ円形の地域と名久井岳の麓にある城山及び諏訪ノ平の飛び地、1,076haが自然公園に指定されています。

また、南部地方随一の霊峰としても知られ、山麓には法光寺、恵光院などの由緒ある寺院があり、信仰の山としてあがめられています。登山道や遊歩道も整備されており、雄大な自然を感じながら登山を楽しむことができます。

令和2年版「環境白書」の 刊行にあたって



私たちのふるさと青森県は、三方を海に囲まれ、東アジア最大級のブナの原生林を有する世界自然遺産白神山地をはじめ、十和田八幡平国立公園の十和田湖や八甲田山、さらには三陸復興国立公園の種差海岸や階上岳など、四季の彩り美しい自然にあふれています。

私たちは、この豊かな自然から、私たちの暮らしに欠くことができない安全・安心で良質な水や食料、エネルギーなどの恵みを享受するだけでなく、自然との共生を通じて、特色のある地域文化や伝統を培ってきました。こうしたかけがえのない財産を守り、育み、次の世代へ引き継いでいくことは、現代を生きている私たちの大切な使命です。

この自然あふれる青森県の環境を守るため、県では、令和2年3月に「第6次青森県環境計画」を策定し、2030年のめざす姿の基本目標を「自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成」として、各種施策を積極的に推進しています。

一方、世界に目を向けると、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することをめざすSDGs（持続可能な開発目標）への取組が国際社会全体で進められており、環境分野においては、地球温暖化に伴う気候変動やプラスチックごみによる環境汚染など、地球規模での環境問題に適切に対処し、持続可能な社会を築き上げていくことが、これまで以上に重要となっています。

こうした中、県内の産業関係団体、市民団体、行政機関などが連携して地球温暖化対策と3Rの取組を推進している、「もったいない・あおもり県民運動推進会議」では、プラスチックごみの削減と資源循環に向けた県民の行動をより一層促進するため、令和2年5月に「あおもりプラごみゼロ宣言」を行いました。皆様には、これまでのライフスタイルを見直し、今できることから実践していただきたいと思います。

この環境白書は、令和元年度の青森県の環境の状況と環境施策の概要を中心に取りまとめたものです。本書が、県民の皆様幅広く活用され、環境問題について県民一人ひとりが関心を高め、青森らしい豊かで美しい自然環境と快適な生活環境の保全・創造に向けた具体的な取組の契機となることを期待いたします。

令和2年11月

青森県知事 三村 申吾

目 次

序章 トピックス	1
第1部 総 説	
第1章 環境問題の概況	5
第1節 環境問題の変遷	5
1 国における変遷	5
2 県における変遷	6
第2節 地球環境問題	8
第3節 循環型社会の構築に向けて	9
第2章 環境保全対策の総合的な取組の推進	11
第1節 青森県環境の保全及び創造に関する基本条例	11
第2節 青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦	12
1 計画の基本的な考え方	12
2 2030年における青森県のめざす姿	12
3 環境分野の政策・施策体系	12
4 取組の重点化	12
5 SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開	13
第3節 青森県環境計画	13
1 青森県環境計画の策定	13
2 第6次青森県環境計画	13

第4節 青森県地球温暖化対策推進計画	15
1 計画の策定	15
2 計画の内容	15
第5節 第3次青森県循環型社会形成推進計画	17
1 計画の概要	17
2 廃棄物の現状と目標	17
3 本県が目指す循環型社会のイメージと計画の推進	17
第6節 県の率先行動	18
1 環境マネジメントシステム	18
2 地球にやさしい青森県行動プラン	18
第7節 北海道・北東北三県の連携	19
第8節 環境保全基金事業	20
第9節 公害防止協定	21
1 公害防止協定の意義	21
2 公害防止協定の締結状況	21
第10節 公害防止管理者等	21
第11節 各種審議会等	21
1 青森県環境審議会	21
2 青森県環境影響評価審査会	22
3 青森県公害審査会	22

第2部 環境の保全及び創造に関する施策・取組

第1章 健やかな自然環境の保全と創造	23
第1節 健全な水循環の確保・水環境の保全	23
1 青森県ふるさと森と川と海の保全及び創造に関する条例	23
2 山・川・海をつなぐ「水循環システム」の再生・保全	24
3 地域用水環境整備	27
4 生態系に配慮した農業農村整備	27
5 水生生物による水質調査	27
6 赤石川等の河川環境の保全	29
7 十和田湖・奥入瀬川の河川環境の保全	29
8 十和田湖水質保全対策	29
9 小川原湖水質保全対策	30
10 陸奥湾水質保全対策	31
11 工業用水道保全対策	31
12 農業用水保全対策	32
13 漁場保全対策	32
14 水質汚濁の現況	32

15 公共用水域の水質等の現況	32
16 水質汚濁防止対策	41
17 下水道等の整備	43
18 下水道対策	44
19 し尿及び浄化槽汚泥処理の状況	48
20 浄化槽整備の推進	49
21 浄化槽法定検査	49
第2節 優れた自然環境の保全とふれあいの推進	49
1 自然保護	49
2 自然保護の基本方針	49
3 自然環境の保全対策	50
第3節 森林の保全と活用	54
1 社会全体で支える森林整備の推進	54
2 間伐及び再造林の推進	54
3 県産材の利用促進	54
4 松くい虫等被害対策	54
第4節 里地里山や農地の保全と環境公共の推進	55
1 農地の保全	55

2 多面的機能の維持・発揮	55	循環型社会づくり	67
3 環境にやさしい農業の推進	55	第1節 県民総参加による「もったいない」意識で	
4 冬の農業の推進	55	取り組む3Rの推進	67
5 グリーン・ツーリズムの推進	56	1 廃棄物処理	67
6 地域づくりの新しいかたち		2 一般廃棄物(ごみ)の処理状況	68
～あおもり発!「環境公共」の推進～	56	3 産業廃棄物の処理等の状況	68
第5節 野生動植物の保護・管理	56	第2節 資源循環対策の推進	70
1 鳥獣保護及び狩猟	56	1 資源循環の推進	70
2 希少野生生物の保護	59	2 資源循環の環境づくり	72
第6節 世界自然遺産白神山地の保全と活用	60	第3節 廃棄物の適正処理の推進	72
1 白神山地の概要	60	1 一般廃棄物の処理体制	72
2 白神山地の動植物	60	2 空き缶等散乱防止対策	73
3 世界遺産(自然遺産)としての白神山地の		3 海岸漂着ごみ対策	73
意義	60	4 災害廃棄物対策	73
4 保全対策	61	5 産業廃棄物処理業者の状況	73
第7節 温泉の保全	62	6 産業廃棄物処理施設の状況	74
1 温泉の現況	62	7 産業廃棄物処理業者等立入検査・指導	74
2 温泉法に基づく許可状況	62	8 優良産廃処理業者認定制度の活用	75
第2章 県民にやすらぎを与える		9 経済的手法の活用による産業廃棄物対策	75
快適な環境の保全と創造	63	10 不法投棄等防止対策	76
第1節 身近にふれあえる緑や水辺の保全と創造	63	11 ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物対策	77
1 都市公園整備	63	12 県境不法投棄対策	78
2 多自然川づくり	63	13 環境犯罪の取締り状況	79
3 港湾環境整備	63	第4章 安全・安心な生活環境の保全	81
第2節 良好な景観の保全と創造	63	第1節 大気環境の保全	81
1 景観法及び青森県景観条例に基づく景観形成の		1 大気汚染の現況	81
推進	63	2 環境監視体制	81
2 青森県景観形成審議会	64	3 汚染物質別大気汚染の現況	81
3 大規模行為届出制度	64	4 大気汚染防止対策	88
4 公共事業景観形成基準	64	5 アスベスト対策	90
5 景観形成に関する普及啓発事業及び支援事業	64	6 公害健康被害対策	91
6 青森県景観計画	65	7 悪臭対策	92
第3節 歴史的・文化的遺産の保護と活用	65	8 稲わら焼却防止活動	92
1 歴史的・文化的環境の保全・創造の必要性	65	9 畜産業対策	93
2 歴史的・文化的環境の要素	65	第2節 静けさのある環境の保全	94
3 歴史的・文化的環境の保全・創造の方向性	65	1 騒音・振動の現況	94
4 縄文遺跡群の世界遺産登録推進	66	2 騒音・振動の発生源別の状況	94
5 伝統工芸品産業の振興	66	3 騒音・振動防止対策	94
6 青森県史の編さん	66	第3節 地盤・土壌環境の保全	96
第3章 県民みんなでチャレンジする		1 農用地土壌対策	96
		2 一般環境土壌対策	96
		3 休廃止鉱山鉱害防止対策	96
		4 地盤沈下対策	97
		第4節 化学物質対策の推進	100

1	ダイオキシン類対策	100	1	環境教育・学習の推進	120
2	P R T R制度	101	第2節	家庭や事業所における環境配慮を促す	
3	農薬残留対策	101		取組と仕組みづくり	120
第5節	オゾン層保護・酸性雨対策の推進	102	1	「もったいない・あおもり県民運動」の	
1	オゾン層	102		推進	120
2	酸性雨	103	2	あおもりエコの環スマイルプロジェクト	121
第6節	環境放射線対策の推進	104	3	事業者等に対する普及啓発及び支援	121
1	環境放射線の調査等	104	4	「あおもりECOにこオフィス・ショップ」	
2	調査結果の評価等	106		認定事業	121
3	調査結果の公表	106	第3節	環境情報の提供と環境活動のネットワー	
第7節	環境影響評価の推進	107		づくり	121
1	環境影響評価	107	1	環境情報の提供	121
2	環境影響評価制度の経緯	107	2	環境活動のネットワー	121
3	環境影響評価の実施状況	107	第5次	青森県環境計画モニタリング指標一覧	123
第8節	公害苦情・紛争処理の推進	110	第7章	第5次青森県環境計画の推進に当たっての	
1	公害紛争処理	110		県の重点施策	132
2	公害苦情処理	110	重点施策1	自然との共生と健全な水循環の確保	132
3	公害苦情の概況	110	(1)	山・川・海を一体的に捉えた健全な	
第5章	暮らしと地球環境を守る低炭素社会づくり	112		水循環の確保	132
第1節	環境にやさしく効率の良い		(2)	世界自然遺産白神山地など豊かな自然環境の	
	省エネルギー型の社会づくり	112		保全と活用	132
1	地球温暖化の現況	112	(3)	野生鳥獣の保護と管理	133
2	青森県地球温暖化対策推進計画の推進	115	重点施策2	県民総参加による低炭素・循環型社会	
3	地球温暖化による本県農林水産業への影響と			づくりの推進	133
	対応	117	(1)	「もったいない」意識のもと県民一丸となった	
第2節	地域の特性を生かした			3 Rの推進	133
	再生可能エネルギーの導入推進	117	(2)	省エネルギー対策と再生可能エネルギー導入	
1	環境・エネルギー産業の振興	117		促進による低炭素社会づくりの推進	134
2	道路施設への再生可能エネルギーの導入	119	重点施策3	子どもから大人まで青森県の環境を守	
3	バイオマスの利活用の推進	119		り・つなぐ人づくりと仕組みづくり	135
第6章	社会全体で環境配慮に取り組む人づくりと		第5次	青森県環境計画重点施策指標及び目標一覧	136
	仕組みづくり	120			
第1節	子どもから大人まで環境配慮に取り組む				
	人づくり	120			

資料編

目次	139
----	-----

序章 トピックス

序章 トピックス

令和元年度の環境保全、自然保護及び低炭素・循環型社会づくりに関連する県の取組からいくつかのトピックスをまとめました。

【環境政策課】

「第6次青森県環境計画を策定（3月）」

「青森県環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき、本県の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和2年3月に第6次青森県環境計画を策定しました。

有識者会議等にて検討を重ね、パブリック・コメントを実施した上で、県環境審議会の答申をふまえて、策定したところです。

※第2章第3節（P13～）参照

「スマートムーブ通勤、キャッチコピーグランプリを決定！」

地球温暖化対策の1つとして、自動車から出る二酸化炭素の排出削減に向け、エコで賢い移動「スマートムーブ」がしたくなるキャッチコピーを募集しました。

特に自動車の利用が多い「通勤時」をイメージした数ある作品の中から、グランプリと準グランプリを決定！

グランプリ 「通勤が変わった。わたし、前より笑顔がふえたかも。」

準グランプリ 「今日は歩こう、それが未来への一步。」

県では、引き続き、「自転車」や「公共交通機関＋徒歩」などの、エコで健康的なスマートムーブ通勤を推進していきます。

「ごみ減量チャレンジ980キャンペーンを実施（6月～10月）」

県民総参加でごみ減量とリサイクルに取り組む気運を一層盛り上げるため、6月から10月までを「ごみ減量チャレンジ980キャンペーン」期間とし、市町村と連携した啓発イベントや小学生を対象とした「3Rチャレンジ」を実施しました。

「3Rチャレンジ」では、県内の全小学校に「3Rチャレンジブック」を配布し、雑紙回収などの5つのチャレンジに取り組んでもらい、チャレンジ優秀校として20校を表彰しました。また、全てのチャレンジに取り組んだ児童2,700人には「エコキッズ認定証」を進呈しました。

【環境保全課】

「小川原湖の水質改善に向けた取組の推進」

小川原湖の水質改善を目的に、令和元年度から、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」重点事業として小川原湖水質改善緊急対策事業を実施しています。

令和元年度は、小川原湖に接続する姉沼・内沼の水質等に係る詳細な調査を行うとともに、専門家委員会を開催し、姉沼・内沼の汚濁要因や水質改善対策について専門的見地から検討しました。

また、小川原湖流域において、工場又は事業場から排出される水の状況等を確認するための巡視活動を重点的に実施し、事業場等に対し水質汚濁に係る指導を行うとともに、十和田市で生活排水対策推進アドバイザー講習会を開催し、講習会修了者に地区の生活排水対策を率先して進める役割を担ってもらうことで、小川原湖流域における事業者及び住民に対する意識啓発を行いました。

令和2年度もこれらの取組を引き続き実施することとしています。

「青森県建設系廃棄物適正処理推進行動指針に基づく取組の推進」（1月）

産業廃棄物の不法投棄等の多くを占める建設系廃棄物の不法投棄を抑制するため、青森県建設系廃棄物適正処理推進会議（県、青森市、弘前市、八戸市及び民間団体で構成）を開催し、平成30年度に策定した本指針に基づき、各構成機関が実施していくべき具体的な取組内容を定めました。

本指針では、建設系廃棄物の大規模な不法投棄^注について、概ね10年以内に撲滅することを目標に掲げています。

注）環境省が公表している10トン以上の不法投棄（不適正保管及び野焼きは含まない。）

【自然保護課】**「青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック****（２０２０年版）－の発行（３月）」**

本県の豊かな自然環境の状況を示す指標である希少野生生物の現状を把握するとともに、種の希少性や保護の重要性についての普及啓発を図るために、平成12年3月に発行した「青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック－」に掲載された選定種について、新規選定種の追加やランクの見直しを行い、その結果を「青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック（２０２０年版）－」として取りまとめ、令和2年3月に発行しました。

本書は、県のホームページで御覧になれます。

「白神岳プロモーションビデオの作成（３月）」

世界自然遺産白神山地を代表する白神岳の魅力を国内外の登山愛好者に発信するため、白神岳の雄大な自然や美しい景色のほか、麓のアクティビティや温泉などを紹介するプロモーションビデオを作成しました。

ビデオは、白神山地ビジターセンターホームページや白神山地外国語ウェブサイト、動画共有サイト「YouTube」で御覧になれます。

